

2023年度 京都橘大学における研究倫理教育の実施について（通知）

京都橘大学 研究倫理委員会

本学における研究倫理教育を、以下の通り実施します。該当する者は下記の制度を十分に確認のうえ、遵守していただきますよう、よろしくお願いいたします。

I. 本学の研究倫理教育について

1. 研究倫理教育の提供を受ける対象者について

- (1) 本学に所属している専任教員
- (2) 本学に在籍している大学院生
- (3) 本学に所属し、公的研究費の運営、管理に携わる事務職員（有期雇用契約者を含む）
- (4) その他、本学が必要と認めた者

2. 2023年度実施の研究倫理教育について

(1) APRIN e-learning コース（一般財団法人公正研究推進協会）の受講について

上記1の対象者は、研究倫理教育を受講しなければなりません<全員受講義務>。

本学では研究倫理教育として「APRIN e-learning（以下、APRIN）」を提供しています。

専任教員、大学院生はAPRINの受講を必須としていますので、受講方法・コース等を「表1」、「表2」、「表3」で確認のうえ、全員必ず受講してください。

※2022年度までにAPRINを受講した方は有効期限をご確認ください。APRINの有効期限は、各コースの全単元を修了した年度を含む5年度です（詳細は「II. 3. 受講期間および有効期限について」参照）。

※研究倫理委員など、職務との関係により受講義務が生じる場合がありますので、ご注意ください（詳細は「I. 4. 職務との関係による受講義務について」参照）

※新規でコースを受講する場合、過年度の受講歴は引き継ぎません。

※他機関からの転入者も本学でAPRINを受講してください。他機関で研究倫理教育を受講している場合、受講内容を勘案のうえ、転入年度はAPRIN受講を免除することがあります（詳細は別途確認すること）。

(2) 研究倫理申請説明会の開催について

研究倫理委員会への申請を考えている方（希望者）は、研究倫理申請説明会に参加してください。

日 時：2023年5月24日（水） 17:10～18:10（予定）

対象者：研究倫理委員会への申請を考えている方（教員、大学院生のうち希望者）

内 容：本学研究倫理委員会への申請方法 など。

3. 各種申請時における要件について

- (1) 本学の研究倫理委員会の申請者は、申請時に APRIN の修了証を提出してください。
- (2) 科研費等公的研究費申請者は申請時に、また、採択者は交付内定時に APRIN の修了証を提出してください。なお、JST 等では別途、所定コースの追加受講が求められる場合があります。
- (3) 民間等外部資金申請者・採択者は、申請時および採択時に APRIN の修了証を提出してください。なお、応募条件は助成団体の募集要項にしたがってください(eL CoRE 受講が必須となる場合もあります)。
- (4) 本学における学内研究助成の申請者は、申請時に APRIN の修了証を提出してください。

4. 職務との関係による受講義務について

- (1) 研究倫理委員会委員(新委員のみ/外部委員除く)は「2023 年度研究倫理委員」を受講してください。
- (2) 動物実験委員会委員(新委員のみ/外部委員除く)は「2023 年度動物実験委員」を受講してください。
- (3) 公的研究費に携わる事務職員(新任職員のみ)は、「2023 年度事務職員」を受講してください。
- (4) 研究倫理委員会や動物実験委員会の外部委員は、必要に応じて任意で eL CoRE を受講してください。

II. APRIN の受講方法について

1. APRIN へのログイン方法について

- (1) 本学ホームページ(トップページ→「研究・生涯学習・産学公地域連携」→「研究活動」→「研究活動の公正な実施について」→「公正研究・研究倫理に関する取り組み」)の「5. APRIN e-learning による研究倫理教育」「▶APRIN e-learning コースはこちら」からアクセスしてください。
- (2) 管理者より通知された[ユーザー名(ID)、パスワード]で APRIN にログインしてください。詳細は「APRIN 受講者マニュアル」でご確認ください。

ユーザー名 (ID) : ktu+大学のメールアドレス@より前部分。

Ex. aiueo@tachibana-u.ac.jp の場合、ユーザー名は ktuaiueo

パスワード: 初期パスワードをメール送信しています。不明の場合はパスワードを再設定すること。

2. 受講方法およびコースについて

- (1) 受講するコース・単元を「表 1」「表 2」「表 3」で確認して、受講期間中にコースに含まれるすべての単元を受講し、コースを修了してください。一部単元のみ受講し、コース未修了のまま受講期間を終えたと、既に受講した単元は無効となり、次の受講期間に再受講が必要となりますのでご注意ください。
- (2) APRIN から単元追加の指導があり、本学研究倫理委員会が追加受講の必要性を認めた場合、改めて通知を行いますので、必要な単元を受講してください。なお、その場合の有効期限は当初の期限から延長しません。

3. 受講期間および有効期限について

(1) 2023 年度の受講可能期間は下記の通りです。必ず下記期限厳守でコースを修了してください。

2023 年度受講者： 2023 年 3 月 1 日（水）～2023 年 8 月 31 日（木）※厳守

(2) B コース（基本 人文・社会・その他）は、2023 年度より 7 科目受講が必要です。2022 年度以前に B コースを受講した人は、上記期限厳守で必ず追加 2 科目を受講してください。

(3) APRIN の有効期限は、各コースの全単元を修了した年度を含む 5 年度です（下記の通り）。

(例)	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
2023 年度 APRIN コース受講	1 年目（受講年度） 受講可能期間 2023 年 3 月 1 日 ～ 8 月 31 日	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目（最終年度） コース有効期限 ～2028 年 3 月 31 日

(3) 各コースの必須単元をすべて履修後（合格に必要なスコアは、1 単元 80%以上）、修了証を各自で発行（ダウンロード）してください。前述「I.3」の各種申請時を除き、修了証を管理者に提出する必要はありません。また、受講者自身で、受講状況、成績管理、有効期限の確認を行ってください。

(4) APRIN の修了証には、受講コース名、受講単元、完了日、有効期限等が記載されます。

(例)

●コース カリキュラム修了証	
所属機関	: 京都橘大学
姓	: 橘
名	: 花子
修了日	: 2023/04/02
修了証番号	: AP000000
単元名	完了日
<u>公的研究費の取扱い 2023/04/01</u>	
有効期限	: 2028/3/31

※APRIN 修了証の受講コース名と有効期限を確認してください。

※コースの全単元を修了した場合、その受講（修了）年度を含む 5 年度を有効期限としています。

【問合せ先】 ※研究倫理教育に関してご不明な点があれば、下記までお問い合わせください。

京都橘大学学術振興課 担当：北川／成松／田村（内線 1709）

E-mail : kenkyu@tachibana-u.ac.jp

<資料>

表1 APRIN e-learning 受講コース (コース順)

コース名	単元	受講対象者
A: 2023 年度 人を対象とする研究	16	人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (以下、指針) に該当する研究。 主な対象: 看護学部・健康科学部・総合心理学部
B: 2023 年度 基本 (人文・社会・その他)	7	人文・社会科学分野に該当する研究。その他、指針に該当しない研究。 主な対象: 文学部・国際英語学部・発達教育学部・経済学部・経営学部
C: 2023 年度 動物実験に関わる研究	13	動物実験に関わる研究を行う者。 主な対象: 健康科学部・総合心理学部
D: 2023 年度 遺伝子組換え実験に関わる研究	11	遺伝子組換え実験に関わる研究を行う者。 主な対象: 健康科学部
E: 2023 年度 理工系に関わる研究	7	理工系に関わる研究。 主な対象: 工学部
2023 年度研究倫理委員	7	研究倫理委員会委員 (外部委員を除く)
2023 年度動物実験委員	3	動物実験委員会委員 (外部委員を除く)
2023 年度事務職員	1	学術振興課、総務課、管財課、経理課、図書館課で公的研究費を直接取り扱う業務従事者。

※ 教員、大学院生は A、B、C、E のいずれかのコースを必ず受講すること (受講必須)。

※ B コース (基本 人文・社会・その他) は、2023 年度より 7 科目受講が必要です。

2022 年度以前に B コースを受講した人は、下記 2 科目を追加で受講してください。なお、コースの有効期限は、当初の有効期限から延長しないものとします。

人文学・社会科学 と研究の公正性	人文学・社会科学分野における研究の質と研究公正性との関係
	人文学・社会科学の学問特性と研究不正

※ APRIN の有効期限は、各コースの全単元を修了した年度を含む 5 年度です。

表2 研究倫理教育受講要件 (学部順)

区分	主な対象	APRIN e-learning コース	申請説明会
専任教員	文学部・国際英語学部・ 発達教育学部・経済学部・経営学部	B: 2023 年度基本 (人文・社会・その他)	希望者
	工学部	E: 2023 年度理工系に関わる研究	希望者
	看護学部・健康科学部・総合心理学部	A: 2023 年度人を対象とする研究	希望者
	健康科学部・総合心理学部	C: 2023 年度動物実験に関わる研究	—
	健康科学部	D: 2023 年度遺伝子組換え実験に関わる研究	—
	研究倫理委員、研究倫理教育委員	2023 年度研究倫理委員	—
	動物実験委員	2023 年度動物実験委員	—
大学院生	文学研究科・現代ビジネス研究科	B: 2023 年度基本 (人文・社会・その他)	希望者
	看護学研究科・健康科学研究科	A: 2023 年度人を対象とする研究	希望者
職員	公的研究費関連事務職員	2023 年度事務職員	—

表3 APRIN e-learning研究倫理教育プログラム（2023年4月1日現在）

領域	単元	英 語 版	本学コース設定					委員会委員/職員			
			A	B	C	D	E	研究倫理 委員	動物実験 委員	職員	
			人を対象と する研究	人文・社会 (基本)	動物実験	遺伝子組 換	理工系				
			16	7	13	11	7	7	3	1	
責任 ある 研究 行為	共通単元	責任ある研究行為ダイジェスト	○					○必須	○必須	○必須	
		公的研究費の取扱い	○	○必須	○必須		○必須				
	生命医科学系		責任ある研究者の行為について	○	○必須	○必須					
			研究における不正行為	○	○必須	○必須					
			データの扱い	○	○必須	○必須					
			共同研究のルール	○	○必須	○必須					
			利益相反	○	○必須	○必須					
			オーサーシップ	○	○必須	○必須					
			盗用と見なされる行為	○	○必須	○必須					
			社会への情報発信	○	○必須	○必須					
			ピア・レビュー	○	○必須	○必須					
		メンタリング	○	○必須	○必須						
	人文系		研究活動における不正行為	○		○必須					
			人文学・社会科学分野における盗用	○		○必須					
			共同研究とオーサーシップ	○		○必須					
			ピア・レビューと利益相反	○		○必須					
	人文学・社会科学 と研究の公正性		人文学・社会科学分野における研究の質と研究公正性との 関係	○		○必須					
			人文学・社会科学の学問特性と研究不正	○		○必須					
	理工系		研究不正	○				○必須			
			工学研究におけるデータの管理上の倫理問題	○				○必須			
			理工学分野における利益相反	○							
			責任あるオーサーシップ	○				○必須			
			理工学研究領域の論文発表とピア・レビュー	○				○必須			
			理工学分野における共同研究	○				○必須			
			研究者・技術者の社会的責任と告発	○				○必須			
			環境倫理	○							
			メンタリングとメンター、メンティー	○							
人を対象とした研究		生命倫理学の歴史と原則、そしてルール作りへ	○	○必須				○必須			
		研究倫理審査委員会による審査	○	○必須				○必須			
		研究における個人に関わる情報の取り扱い	○	○必須				○必須			
		人を対象としたゲノム・遺伝子解析研究	○								
		研究で生じる集団の被害	○								
		研究におけるインフォームド・コンセント	○	○必須				○必須			
		特別な配慮を要する研究対象者	○	○必須				○必須			
		カルテ等の診療記録を用いた研究	○								
		生命医科学研究者のための社会科学・行動科学	○								
		国際研究	○								
		多能性幹細胞研究の倫理 I・II	○								
		研究倫理審査委員会の委員に就任する際に知っておくべきこと	○					○必須			
		人を対象とする医学系研究	○								
	人を対象とした研究ダイジェスト	○									
実験動物の取り扱い		単元1：動物実験の基礎知識	○		○必須				○必須		
		単元2：動物実験の実施にあたり配慮すべきこと	○		○必須				○必須		
研究の安全性		バイオセーフティとバイオセキュリティの考え方	○			○必須					
		実験安全の基本	○			○必須					
		化学物質を使った実験	○			○必須					
		放射性物質の取り扱い	○			○必須					
		遺伝子組換え	○			○必須					
		血液由来病原体対策	○			○必須					
		実験室関連感染とバイオハザードのリスク評価	○			○必須					
		リスク管理	○			○必須					
		バイオサンプルの発送と受取	○			○必須					
		バイオテロリズム	○			○必須					
		バイオセキュリティ	○			○必須					

※ 「○必須」は受講を要する単元です。空欄はオプション単元です（任意受講。修了証発行の要件とはならない）。

※ 単元名は、一部省略しています。また、単元名は変わることがあります。

※ Bコース（基本 人文・社会・その他）は、2023年度より7科目受講が必要です。2022年度以前にBコースを受講した人は、上記「人文学・社会科学と研究の公正性」の2科目（赤太字で表示）を追加で受講してください。なお、コースの有効期限は当初の有効期限から延長しないものとします。